

【議事要旨】

会 議 名	令和3年度第2回港区指定管理者選定委員会
開 催 日 時	令和3年7月29日（木）午前9時00分から午前11時45分
開 催 場 所	庁議室
委 員	<p>■出席者</p> <p>（委員長）大澤企画経営部長 （副委員長）新宮総務部長</p> <p>（委員）西川企画課長、宮本区役所改革担当課長、若杉財政課長、荒川総務課長、加茂契約管財課長</p> <p>（説明員）金田高齢者支援課長、大久保麻布地区総合支所まちづくり課長、成清赤坂地区総合支所まちづくり課長、近江芝浦港南地区総合支所まちづくり課長</p>
事 務 局	企画経営部企画課
会 議 次 第	<p>審議事項</p> <p>1 指定管理者の選定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 港区立虎ノ門高齢者在宅サービスセンター【資料1】 ・ 港区立特別養護老人ホーム白金の森、港区立高齢者在宅サービスセンター白金の森、港区立地域包括支援センター白金の森【資料2】 ・ 港区立特別養護老人ホーム港南の郷、港区立高齢者在宅サービスセンター港南の郷、港区立地域包括支援センター港南の郷、港区立ケアハウス港南の郷【資料3】 ・ 港区立南麻布高齢者在宅サービスセンター、港区立南麻布地域包括支援センター【資料4】 ・ 港区立台場高齢者在宅サービスセンター【資料5】 ・ 港区立北青山高齢者在宅サービスセンター、港区立北青山地域包括支援センター【資料6】 ・ 港区立芝高齢者在宅サービスセンター、港区立芝地域包括支援センター【資料7】 ・ 麻布地区港区立公園・児童遊園【資料8】 ・ 赤坂地区港区立公園・児童遊園【資料9】 ・ 芝浦港南地区港区立公園・児童遊園【資料10】
配布資料	<p>（公募施設）資料1から資料10</p> <p>資料○ 指定管理者候補者選定調書</p> <p>資料○-2 指定管理者候補者選考委員会報告書</p> <p>資料○-3 指定管理者応募者提案内容の比較表</p> <p>資料○-4 職員配置表</p> <p>資料○-5 選考委員会採点表</p> <p>資料○-6 選考委員会議事録</p> <p>資料○-7 指定管理者指定申請書（他、添付書類等）</p>

会議の結果及び主要な意見	
(意見者)	1 指定管理者の選定について ・港区立特別養護老人ホーム港南の郷、港区立高齢者在宅サービスセンター港南の郷、港区立地域包括支援センター港南の郷、港区立ケアハウス港南の郷 (資料について説明)
金田高齢者支援課長	
宮本委員	施設長は兼務となっている。それぞれの施設で考え方が異なると思うが、問題ないか。
金田課長	法人によって、施設長をそれぞれ施設ごとに配置するか兼務させるのか考え方が異なる。兼務については、特に規程上は問題なく、現状でも、この特別養護老人ホームの施設長が高齢者在宅サービスセンターの管理者を兼務しており、円滑に業務が実施できていると考えている。
宮本委員	選考委員会において、特別養護老人ホームの入所家族への連絡が年2回となっており少ないという意見があった。この部分のフォローは何かあるか。
金田課長	定期的に特別養護老人ホームの様子について情報誌を作って、ご家族にも提供している。そういった取組でのフォローができていると考えている。
西川委員	選考委員会報告書のIV選考結果の2第二次審査(3)選考経過について、委員の意見に、将来の人材確保の面でやや不安を感じたが事業の理解度や熱意が伝わったとあるが、どのような議論があったのか。
金田課長	この法人は、正規の介護職員を全て介護福祉士の有資格者に限定している。その部分を徹底しており、質の高い介護職員を入れている自負があると聞いている。一方、人材確保が困難な中で、今後もこの状態を維持できるのかという点で不安を感じた委員がいた。介護人材の確保が難しい中でも、この状態を維持する姿勢であり、今後5年間も問題はないと事業者からも聞き取っている。
西川委員	介護福祉士の資格を持っていなくても施設の運営上影響はないが、あえてそのように限定しているということか。
金田課長	そのとおり。なお、他施設では資格がない職員もいるが、まずは雇用してそこから資格取得に向けて、法人としてバックアップして育てていくケースが多い。この法人は、最初から資格のある人に限定しているため即戦力になる。
西川委員	提案の中で、安全対策・危機管理の項目において、DCATという災害派遣福祉チームがあるということだが、今すでに実施している取組か新たな取組か。
金田課長	すでに実施している取組である。

西川委員	ここは福祉避難所に指定されているか。
金田課長	指定されている。
大澤委員長	他になければ本件については了承でよろしいか。
(全員)	異議なし